

単元名

よんで よんで わたしのだいすきなほん

いろいろなおはなしをよもう 「おとうとねずみチロ」(東京書籍1年)

本単元で育成する資質・能力

課題発見力

思考力・判断力・表現力

主体性

自己肯定感

1 単元について

【考え・基礎知識】

・物語の内容を理解し、好きな本・好きな人物を見つけ、カードを作成する。

【つながり】

・カード「この人大すき」を交流することで、読書の幅を広げる。

【応用・ひろがり】

・ゆめタウン廿日市内、紀伊国屋書店においてカードの掲示を行い、自分が選んだ好きな本を伝えることで読書の楽しさを実感する。
・図画工作科「みてみておはなし」の学習で、物語のお話を水彩画で描き、大好きという気持ちを絵で表現する。

【単元観】

本単元は、小学校学習指導要領国語のC「読むこと」(第1学年及び第2学年)(1)オ「文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」を受けて設定したものである。言語活動は、(2)オ「読んだ本について、好きなところを紹介する。」に対応する。

本単元では、多くの本を読む機会を設け、自分の好きな登場人物を紹介するカードを書き、交流することをねらいとした。「この人大すき」カードを通じて、自分とは考えのちがう友だちの感性に触れることで読書の幅を広げることが重要事項としている。地域の図書館の方の協力を得て多様な本をたくさん用意し触れること、読むこと、感じることを重視する。自分の好きな本を選ぶ場合には、登場人物の様子や、思いなどを読み取りながら、ストーリーのおもしろさや主人公を表す絵などを意識して読むことが大切になる。

本教材は、愛らしいおとうとねずみチロについて書かれており、主人公の魅力あふれる様子を紹介したものである。物語の中心となる人物がはっきりしており、その人物の行動や気持ち、考えが分かりやすく表現してある。本単元でつきたい力である、好きな人物を紹介するにつなげることができる教材として適している。

【児童観】

児童は、本を手に取り、絵を中心に見ていた幼児期から、字を読みストーリーを理解するようになってきている。同系統の前単元である「おおきなかぶ」「かいがら」「サラダでげんき」で、物語はいくつかの場面できていることや、物語を読むときには、どんな人物がどんなことをしたか、どんな気持ちなのかを考えて読むことを学んでいる。

本単元に関わる児童アンケートでは、90%の児童が「本を読むことは楽しい。」と答えており、概ね読書を楽しんでいることがわかった。どのような本を読んでいるかについては、図鑑・クイズ・マンガ・ニューラル本の割合が67%、物語が33%となっている。読む本の傾向に偏りがあり、図鑑・クイズばかり読み、物語はあまり読まないという児童もいる。

書くことについては、日常的に自分の気づきや思いを50字程度でまとめることに取り組み、力を付けてきているが、誰かに何かを伝えようという目的意識を持って書くことは現段階ではまだ難しく、今後も取り組んでいく必要がある。また、助詞の使い方や促音や長音などの表記に誤りのある児童も多くいる。

発表すること・交流することについては、日頃からホワイトボードや電子黒板を利用して、しっかりと取り組んでいる。クラス内20人という利点を生かし、1時間内に全員発表という取り組みも行い、友だちに認めてもらい褒めてもらうことを通じて自己肯定感も高まっている。

【指導観】

本単元では、教材文やいろいろなジャンルの物語を読んで好きな人物を見つけ、その行動や会話に着目して読み、好きなところをまとめて伝え合う力の育成をねらいとしている。そのために、導入では学活「楽しい本を探そう」をきっかけとして、進んで本を選び紹介し合うという意欲を高めることを大切にする。また、読書への関心や興味を高めるために多くの本を単元導入時から教室に準備し、学習と並行して本を読み、紹介したい本を考えていけるようにする。指導者の推進図書も含め、様々な本を日常的に手に取り読むことができるようにする。

単元構想としては、既習の「おおきなかぶ」「かいがら」「サラダでげんき」の学習もとに、吹き出しカードを利用しながら登場人物の様子や行動を読み取り、そのお話に出てくる大好きな言葉や文を見つけていくようにする。第一次では、「おとうとねずみチロ」を読み取る力に個人差もあることから、少人数で大好きなところを言葉で交流する時間を設定し、友だちからの言葉にヒントを得ながら紹介カードをつくるようにする。好きなところが同じでも理由がちがう場合もあり、そのことに気づくことでより深く物語を味わい、全体で共有することでカード作りへの意欲につなげていく。第二次では、個々の児童の力に応じて本を選び、進んでカード作りに取り組むことができるようモデルとなるカードを紹介し教室に掲示する。

好きな場面や人物に着目して紹介カードをつくる言語活動は、文章の内容を何度も読み直して、自分の経験と結びつけながら自分の思いをまとめるという指導を取り入れることで必然的に本単元の目標を達成することができる。また感想を「おもしろい」「楽しそう」「怖い」といったありがちな感想に留まらず、「読んでみたい」「他の人にも教えたい」「別の本と似ている」といった読書の広がりにつながるものを意識させていく。さらに、ゆめタウン廿日市内紀伊国屋書店の協力を得て、児童が作成したカードを店内掲示させていただき、多くの人に見てもらい喜びが読書の楽しみとつながるようにする。

本単元を通じ、本を読む楽しさや喜びを味わい、その気持ちを多くの人に伝えていく力の育成を図りたい。単元後の学習としては三学期の「むかしばなしをたのしもう」につないでいく。ここでは、「読む」活動から、「話す」力につなげ、独特の言い回しや方言などを通じて、音声言語における表現力の育成を図りたい。

本単元は学級活動・図画工作科の教科と関連付けて展開する。単元前の学級活動「楽しい本を探そう」において、本を紹介したいという意欲を持ち、カード作りへの興味関心を高める。また、カードにかく登場人物の絵を発展させて、図画工作科「みてみておはなし」で画用紙の大きさの水彩画に取り組む。第二次のカード作りの中では、登場人物の絵は重要である。好きなところを多くの人にアピールするために場面を想像し、絵に広げていくことを読書に対する興味・関心・意欲につなげたい。

2 単元の目標

- いろいろな物語を読んで、好きな人物を紹介する活動に意欲的に取り組もうとしている。
- 物語を読んで好きな人物を見つけ、人物の好きなところをカードにまとめて伝え合うことができる。
- 感想を伝える言葉にはさまざまなものがあることに気づくことができる。

【国語への関心・意欲・態度】
【読むこと オ】
【伝言 イ(ウ)】

3 単元の評価規準

資質・能力 思考力・判断力・表現力	・いろいろな物語の本をたくさん読み、友だちに紹介したい本を選び、好きな人物のしたことや様子・気持ちを考えることを通して、「この人大好き」カードに書いて紹介している。	
国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
オ「読んだ本について、好きなところを紹介する言語活動」を通じた指導		
・いろいろな物語の本について感心を持ち、人物の様子や気持ちを読み取り、カードを書くことに意欲を持って取り組もうとしている。	・物語を読んで好きな人物を見つけ、人物の好きなところをカードにまとめて伝え合っている。(オ)	・感想を伝える言葉にはさまざまなものがあることに気づいている。イ(ウ)

4 指導と評価の計画(国語 全 13時間)

次	時	学 習 活 動	評 価		
			教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)	
単元前	1	課題の設定(学活) 「楽しい本を探そう」 ・どんな本を読んできたか交流し合い、読書への関心を高める。		友達がこれまで読んできた本、おもしろそうだな、読んでみたい。楽しい本を、もっと紹介してみたい。友達にも、読んでほしいな。 でも、どんな本なのか、ちょっとわかりにくい。わかりやすくするには、どうしたらいいんだろう。絵があるといいのかなあ。どうしたら友達に大好きをわかりやすく伝えられるのかが、知りたいなあ。	
		課題の設定(国語科) ・学習のゴールイメージをもち、単元のためを設定するとともに学習計画を立てる。 じぶんの好きな本をみつけて、「だいすき」をしようかいうことができる。	【関】物語を読むことについて関心を持っている。(発言・ノート)	「だいすき」を紹介するために、絵をかきたいな。おおきなかぶの最後にやった好きな本発表会のように、大好きなところを読んで教えたいな。楽しそう。どんな本を紹介しようかな。友達の紹介する本の「だいすき」はどんなだろう。楽しみだな。	
第一	次	並 行 読 書	1	【関】	
			2	【読】	おもしろいお話だな。かわいいから、チロが好き。優しいから、おばあちゃんが好きな。
			3	【関】	絵を入れたり、大好きなところを書いたりしてカードを作るとわかりやすいな。カードの作り方がわかったよ。おとうとねずみチロを読みながら、カードに書くことを探していこう。
			4	【読】	どんなお話がわかったよ。次は、大好きなところを見つけよう。楽しみだなあ。
			5	【読】	好きなところがいっぱいあるなあ。どれを大好きに選ぼうかな。
			6	【読】	【思考力・判断力・表現力】(発言・ノート) チロがおばあちゃんに「ありがとう」を言うところが好き。優しいから。友達は、チロが「ほくにもチョコッキ、あんでね」のところが好きと言っていたよ。チロの気持ちがよくわかるからだって。
			7	【読】	自分の「だいすき」が伝わるようなカードができたよ。友達のカードを早く読んでみたい。
			8	【読】	【思考力・判断力・表現力】(発言・ノート) 最初の感想と比べると、登場人物の行動や言葉に線を引きながら学習したから、「だいすき」がよく伝わるカードになったよ。次は、この方法を生かして、読んでいきたい。どの本の大好きを伝えようかな。

		をもつ。			
第二次	9	課題の設定 ・読んできた本の大好きをたくさんの人に紹介するという学習のゴールイメージをもつ。		【関】 好きな人物を紹介する活動に意欲的に取り組もうとしている。 (観察・発言)	自分の選んだ本の「だいすき」をもっといろいろな人に知らせたいな。図書室に掲示してもらいたいな。保育園や幼稚園に持って行きたいな。本屋さんに掲示してもらえるなんて、びっくり。
	10 11	情報の収集・整理・分析 ・自分のお気に入りの本を選び、前時までの学習を生かし、本の大好きカードを作る。	並 行 読 書	【読】 好きな人物について、カードに書いて紹介したいところを見つけている。 (カード・行動観察) 【言】 感想を伝える言葉にはさまざまなものがあることに気づいている。 (カード・行動観察)	自分の大好きが伝わるように、カードを工夫して作ったよ。
	12	まとめ・創造・表現 ・自分が作った本の大好きカードを提示しながら、本の紹介をする。		【読】 書いたカードを読み合い、よいところを伝え合っている。 (発言・行動観察)	友達が読んでくれて、うれしいな。友達のおもしろいところがよくわかったよ。その本を読んでみようかな。
	13	振り返り ・人物の行動や様子に着目していろいろな本を読み、好きな人物を紹介することができたか振り返る。		【関】 学習したことをもとに、これからの読書活動では人物の行動や様子に着目しながら読んでいこうとしている。 (発言・ノート)	自分の大好きを伝えられたよ。本屋さんに飾ってもらって、自分が大好きな本をたくさんの方が好きになってくれたらいいな。どんな人が読んでくれるのかな。楽しみな。これからも、好きな登場人物のことを考えながら読書していきたいな。
単元後		まとめ・創造・表現 (図画工作科) 『みてみておはなし』 ・これまでの学びを、絵で表現する。			
		振り返り ・友達の描いた場面の工夫を見つける。		おはなしのだいすきなばめんをえらび、くふうしてかくことができる。	絵に表してみたら、もっとお話が好きになったよ。
					本って楽しいな。これからも、どんどん本を読んで、「だいすき」をいっぱい見つけたいな。そして、みんなに伝えたいな。

5 本時の目標

場面の様子やチロの行動に着目しながら読むことを通して選んだ大好きな文とその文について感じたことや思ったことをまとめ、紹介し合うことができる。 【読むこと オ】

6 本時の展開

	学習活動（時間）	◇指導上の留意点 ・予想される児童の反応 ◆主体的な学びを促す教師の手立て	評価規準（評価方法）
課題の設定	1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確認する。（5分）	◇前時に見つけた好きなどころから「だいすき」を選ぶことを知らせる。 ◇「この人だいすきカード」を掲示し、カードに記入することを確認し、本時のめあてにつなげる。	【読】 ・紹介したい最も好きなどころを行動や様子に着目して読み、見つけている。 (付箋・行動観察)
	◎だいすきなどころと、そのわけをしょうかいすることができる。		
情報の収集	2 大好きなどころを見付けながら、自分の好きな文を音読する。（5分）	◇前時に見つけた好きなどころ（付箋を貼ったり、線を引いたり、丸で囲んだりした箇所）を確認しながら音読し、「だいすき」を見つけさせる。	
	3 選んだ大好きなどころの付箋に、理由を付け加えさせる。（5分）	◇自分の経験と結び付け、「自分と似ているから好き」「自分だったら」などと想像を広げて考えさせる。	
整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・私が好きなどころは、チロがおばあちゃんに「ありがとう」を言うところからです。 ・チロがとびはねて喜ぶところが好きです。心配していたから、もらえて本当にうれしかったんだなあとと思うからです。 ・チロが「そうだ、いいことかんがえた。」と思いついたところが好きです。私だったら、すぐあきらめるかもしれないのに、チロはがんばったからです。 		
	4 交流する。（20分） ペア（相手を変えて数度） 全体	◆ペアトークでは、教科書の叙述を指し示しながら、大好きな場面とその理由について説明しあうようにする。 ◆全体交流では、電子黒板を活用し、教科書の叙述を全体で確認できるようにする。 ◇違うところを選んだ友達や同じところでも理由が違う友達の考えを知り、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【思考力・判断力・表現力】 ・大好きなどころとその理由を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (発言・付箋)
まとめ・振り返り	5 本時の学びをまとめ、次時の課題を設定する。（10分）	◇振り返りを交流し、気づきをほめたり、共有したりすることで、しっかり読もうとする気持ちにさせたり、自由に想像を広げることができるという安心感を持たせたりし、次時につなげる。	
課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、チロがおばあちゃんに「ありがとう」を言うところが好きです。理由は、チロが優しいからです。友達は、チロが「ぼくにもチョコッキ、あんだね」のところが好きと言っていました。チロの気持ちがよくわかるからだそうです。 ・友達と交流すると、好きなどころが違っていてもそれぞれのよさがあるし、好きなどころが同じでも理由がいろいろあって、おもしろいなと思いました。 ・次の時間に、自分の「だいすき」が伝わるようなカードを書くのがとても楽しみです。今日の学習では、自分と友達の考えを比べて、次の時間に書く「だいすき」についてしっかり考えることができたと思います。 		